令和7年度 高等部1年 II課程 (産業コース) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
3/105		高等部1年 II課程 (産業コース)			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階) (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、声の大きさや間の取り方に注意して話すことができた。 (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができた。 (主学) 話し言葉と書き言葉を意識し、思いや考えを理解することができた。 【評価資料】 活動の様子、感想、発表の自己評価と相互評価	「自己紹介をしよう」 ～わかりやすく説明する～ (4月)	・自己紹介に必要なメモを記入する。 ・個人情報の扱いに気をつけ、必要な内容を考える。 ・相手に伝わるような声の大きさ、姿勢、間の取り方を練習する。 ・聞くマナーを守り、相手の話をしっかり聞く。
		(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1段階Aア) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、話の内容を伝え合おうとすることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 言葉には、思いや考えをまとめた、周りに人に伝える働きがあることに気付くことができた。 (思・判・表) 話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができた。 (主学) 言葉の働きを意識し、話の内容を理解できた。(高1段階ウ) 【評価資料】 活動の様子、聞き取り確認シート	「情報を的確に読み取る」 ～話の中心的内容やキーワードを理解する～ (5月)	・教師の指示や説明をしっかりと聞き、 ・省略や記号などメモの取り方を知る。 ・段階的な聞き取りシートで練習する。 ・メモを取り、話の中心的内容やキーワードを理解する。
		(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(高1段階A工) (学・人) 主体的に情報を集め、感じたことや考えたことを伝えたり、他者の思いを感じることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 具体的な事柄や内容を整理し、自分の感想や考えにいたる理由を説明することができた。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができた。 (主学) 主体的に情報を集め、自分の感じたことや考えたことを伝えたり、他者の思いを感じ取ることができた。 【評価資料】 活動の様子、まとめノート、感想発表	「平和について考えよう」 ～沖縄戦の情報を探そう～ (6月)	・図書室の分類を学び、情報の収集の仕方を知る。 ・情報をカードに整理する。 ・正確な情報や事例をもとに、事実と感想を使い分け、まとめる。 ・友だちの文章を読み感想を交流する。
(知及技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。(高1段階イ(ア)) (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階Bア) (学・人) 相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 漢字を使うことで読みやすくなることを理解し、文字の大きさや形を整えて書くことができた。 (思・判・表) 誰に対して、何のために書くか意識しながら伝えたいことを明確にすることができた。 (主学) 季節の言葉などの漢字を使い、相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができた。 【評価資料】 活動の様子、下書き原稿、清書はがき	「暑中見舞いを書こう」 「漢字を使おう」 (7月)	・暑中見舞いの目的を知る。 ・時候の挨拶や決まり事などのマナーを守る。 ・相手を気遣う文面を考える。		

2 学 期	42	<p>(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 相手や場面に応じて敬語を使い分けて話すことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 目上の人や場面に応じて尊敬語や謙譲語を使うことができた。 (思・判・表) 相手との親疎や場の状況などに応じて、声の出し方や言葉遣い、視線などに気をつけて話すことができた。 (主学) 相手や場面に応じて敬語を使い分けて話すことができた。</p> <p>【評価資料】 活動の様子、発表、振り返りシート</p>	<p>「敬語で話そう」 ～ビジネススマナー～ (9月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じた挨拶や言葉遣いを知る。 ・具体的な場面を設定し、相手を意識した言葉遣いや態度を理解する。 ・敬語を使うことで適切な人間関係が気づけることを理解する。
		<p>(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。(高1段階A工) (学・人) 登場人物の心情を読み取り、自分と照らし合わせて想像することができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることができた。 (思・判・表) 登場人物の行動や会話、地の文などから心情が表れている部分を選び取り、自分のことを手がかりとして登場人物の心情を理解することができた。 (主学) 登場人物の心情を読み取り、自分と照らし合わせて想像することができた。</p> <p>【評価資料】 活動の様子、発表、ワークシート</p>	<p>「古典に親しむ」 ～登場人物の気持ちを読み取り、性格や生き方を考える～ 『枕草子』 (10月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない語句の意味調べをする。 ・現代と上代の価値観の違い、または同じところをクラスで共有する。 ・清少納言の考え方や心情について、クラスで考えを深める。
		<p>(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(高1段階A工) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 原稿用紙に漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して使うことができた。 (思・判・表) 自分の考えを具体的に説明するために、事例を記述して理由を示すことができた。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうことができた。</p> <p>【評価資料】 活動の様子、発表、体験作文</p>	<p>「実習を報告しよう」 ～自分の体験や考えを伝える～ (11月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の記録を基に、全体を振り返る。 ・文章の構成を考える。 ・自分の考えを「例えば～」などの表現を使い具体的にを説明する。 ・原稿用紙に下書きする。 ・推敲し、清書する。 ・体験文を読み合い、感想を交流する。
3 学 期	27	<p>(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 社会の中で係る人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1段階Aア) (学・人) しまくとぅばに親しむことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) しまくとぅばでの日常会話や簡単な単語について理解しようとする事ができた。 (思・判・表) しまくとぅばで会話する人の話を聞いたり、読んだりして、内容の要約や説明、自分の簡単な自己紹介をすることができた。 (主学) しまくとぅばに親しむことができた。</p> <p>【評価資料】 活動の様子、ワークシート、意見文</p>	<p>「沖縄の文化を学ぼう」 ～しまくとぅばで日常会話～ (12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味調べをする。 ・教科書やワークシートに書かれたしまくとぅばの文章を読み、現代語に置き換える。 ・しまくとぅばで自分の簡単な自己紹介をする
		<p>(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高1段階A工) (学・人) 相手に伝わるように、工夫して朗読することができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 内容を意識しながら読むときの速さや声の大きさ、声の調子を工夫して音読することができた。 (思・判・表) 場面の様子や心情が伝わるように工夫して朗読することができた。 (主学) 相手に伝わるように、工夫して朗読しや暗唱をすることができた。</p> <p>【評価資料】 活動の様子、発表、自己評価と相互評価</p>	<p>「詩に親しむ」 ～声に出して読み合おう～ 『朝のリレー』『イルカ』他 (1月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面ごとに区切り、黙読をして文章内容を理解する。 ・声に出して読み合う。 ・友だちの朗読のいいところを見つける。 ・詩の暗唱をする。 ・群読をする。
		<p>(知及技) 生活に身近なことわざや慣用句を知り、使うことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(高1段階A工) (学・人) ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使うことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使うことができた。 (思・判・表) 目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができた。 (主学) ことわざや慣用句を自分の経験や生活の場面で使うことができた。</p> <p>【評価資料】 活動の様子、暗唱テスト、ワークシート 確認テスト</p>	<p>「ことわざや慣用句を学ぼう」 ～生活の中で使われている言葉を探そう～ (2月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中でよく使うことわざや慣用句を示す。 ・教訓や防災に関することわざの意味を調べて発表する。 ・音読や暗唱をする。 ・慣用句の定義を知り、意味を調べて、発表する。
<p>(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。(高1段階ア(イ)) (思判表力) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくらったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(高1段階A工) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識することができた。 (思・判・表) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくらったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができた。 (主学) 相手を意識して、感謝の気持ちを伝えることができた。</p> <p>【評価資料】 活動の様子、下書き原稿、清書した手紙</p>	<p>「先輩やお世話になった方へ手紙を書こう」 ～気持ちを届けよう～ (3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことや感謝の気持ちを箇条書きにする。 ・エピソードを具体的に書き、わかりやすく段落をつけまとめる。 ・言葉遣い、漢字表記や句読点などを気をつけて下書きする。 ・便せんを選び清書する。 		
総時 数	105				

令和7年度 高等部1年 II 課程 (産業コース) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部1年 II 課程 (産業コース)			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 社会に主体的に関わりあうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 社会参加するために必要な社会生活に関わる学習活動を通して、地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身に付けることができる。(高1段階ア(ア)㉔) (思判表力) 社会参加するために必要な社会生活に関わる学習活動を通して、社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現できる。(高1段階ア(ア)㉔) (学・人) 社会の一員として自覚し、社会生活に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。(高1段階ア(ア)㉔)	(知・技) 社会参加するために必要な社会生活に関わる学習活動を通して、地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身に付けることができた。 (思・判・表) 社会参加するために必要な社会生活に関わる学習活動を通して、社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現することができた。 (主学) 社会の一員として自覚し、社会生活に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができた。 【評価資料】 活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	社会の中で生きる私たち (4、5月)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分リストを作成する。 ・社会とのつながりを考える(家族、学校、地域社会)。 ・沖繩戦時代の高校生と自分の相違点を知る。
		(知及技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができた。(高1段階イ(イ)㉕) (思判表力) 社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができた。(高1段階イ(イ)㉕) (学・人) 社会の一員として自覚し、社会生活に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。(高1段階イ(イ)㉕)	(知・技) 社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解することができた。 (思・判・表) 社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができた。 (主学) 社会の一員として自覚し、社会生活に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができた。 【評価資料】 活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	社会のルール (5、6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法と基本原理について学習する。 ・人権及び自由と権利・責任と義務について考察する。 ・新しい人権に関連する社会問題や身近な事象を調べる。
		(知及技) 公共施設の役割に関わる学習活動を通して、生活に關係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができた。(高1段階イ(イ)㉕) (思判表力) 生活に關係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができた。(高1段階イ(イ)㉕) (学・人) 社会の一員として自覚し、社会生活に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。(高1段階イ(イ)㉕)	(知・技) 公共施設の役割に関わる学習活動を通して、生活に關係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができた。 (思・判・表) 生活に關係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができた。 (主学) 社会の一員として自覚し、社会生活に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができた。 【評価資料】 活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	社会のしくみときまり (6、7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・立法・行政・司法の仕組みを学習する。 ・現役内閣の名前や役割について調べ、図表を作成する。 ・地域や自分の暮らしと政治とのかかわりについて考察する。
2 学期	28	(知及技) 制度に関わる学習活動を通して我が国の政治の基本的な仕組みや働きについて理解することができた。(高1段階イ(イ)㉕) (思判表力) 制度に関わる学習活動を通して国や地方公共団体の政治の取組について調べ、国民生活における政治の働きを考え、表現することができた。(高1段階イ(イ)㉕) (学・人) 社会の一員として自覚し、社会生活に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。(高1段階イ(イ)㉕)	(知・技) 制度に関わる学習活動を通して我が国の政治の基本的な仕組みや働きについて理解することができた。 (思・判・表) 制度に関わる学習活動を通して国や地方公共団体の政治の取組について調べ、国民生活における政治の働きを考え、表現することができた。 (主学) 社会の一員として自覚し、社会生活に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができた。 【評価資料】 活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	社会参加 (9、10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳選挙権について確認する。 ・選挙以外の政治へ意見を反映させる方法を知る。 ・地域や自分の暮らしと政治について考察し、解決に向けて行動することができる。
		(知及技) 我が国の食料生産に関わる学習活動を通して、自然条件を活かした営みや国民食料確保の重要性と企業努力等の経済活動の現状と課題について理解することができた。(高1段階工(ア)㉖) (思判表力) 食料生産が国民生活に果たす役割や生産工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目し、生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することができた。(高1段階工(ア)㉖) (学・人) 社会の一員として自覚し、社会生活に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができた。(高1段階工(ア)㉖)	(知・技) 我が国の食料生産に関わる学習活動を通して、自然条件を活かした営みや国民食料確保の重要性と企業努力等の経済活動の現状と課題について理解することができた。 (思・判・表) 食料生産が国民生活に果たす役割や生産工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目し、生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することができた。 (主学) 社会の一員として自覚し、社会生活に興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができた。 【評価資料】 活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	暮らしを支える経済 (11、12月)	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活に基づいて生産から消費への流れ(流通のしくみ)企業の経済的役割と消費者主権について確認する。 ・いろいろな仕事(産業別)を知る。 ・消費者問題について考察し、予防と相談機関を調べる。

3 学期	18	<p>(知・技) 自然環境と国民生活に関わる学習活動を通して、自然災害や公害の防止、生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害が環境や国民の生活に影響を及ぼすことを理解することができる。(高1段階ウ(ア)㉞)</p> <p>(思・判・表) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現することができる。(高1段階ウ(ア)㉞)</p> <p>(学・人) 公害や環境問題の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目し、意欲的に取り組もうとすることができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 自然環境と国民生活に関わる学習活動を通して、自然災害や公害の防止、生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害が環境や国民の生活に影響を及ぼすことを理解することができる。</p> <p>(思・判・表) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現することができた。</p> <p>(主学) 公害や環境問題の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目し、意欲的に取り組もうとすることができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。</p>	<p>環境と私たちの生活 (1、2月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題とSDGsについて確認する。 ・身近な環境問題について調べる。 ・ごみ問題の課題と解決法について考察する。
		<p>(知・技) グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができる。(高1段階カ(ア)㉞)</p> <p>(思・判・表) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現することができる。(高1段階カ(ア)㉞)</p> <p>(学・人) 学習活動によって、理解したり、調べたことを手がかりに、更に関心を深めようとするすることができる。(高1段階カ(ア)㉞)</p>	<p>(知・技) グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができた。</p> <p>(思・判・表) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現することができた。</p> <p>(主学) 学習活動によって、理解したり、調べたことを手がかりに、更に関心を深めようとするすることができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。</p>	<p>世界の中の日本 (2、3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会と日本の諸課題について確認する。 ・課題についてグループ討議後、解決策をまとめ、発表する。
総時数	70				

令和7年度 高等部1年 II課程 (産業コース) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
3/105		高等部1年II課程 (産業コース)			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係また図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係、図形の合同や多角形の性質、比例関係や異種の二つの量の割合の比べ方、百分率、データをグラフで表す表し方や読み取り方、測定した結果を平均する方法について理解するとともに、それらの問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位、図形を構成する要素や図形間の関係、伴って変わる二つの数量の関係、目的に応じて収集したデータの特徴や傾向に着目して、目的に合った表現方法を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。(高1段階) (学・人)数量や図形、データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)整数の加法及び減法、乗法、除法の計算が確実にでき、それらに関して成り立つ性質を理解し、目的に応じて計算の結果の見積もりをすることやそれらを適切に活用する技能を身に付けることができる。(高1段階Aウ(ア)㊟、Aエ(ア)㊟、Aオ(ア)㊟㊠、Aカ(ア)㊟㊡、Aサ(ア)㊟) (思判表力)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。(高1段階Aオ(イ)㊟、Aカ(イ)㊟、Aサ(イ)㊟) (学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階Aウ)	(知・技)整数の加法及び減法、乗法、除法の計算が確実にでき、それらに関して成り立つ性質を理解し、目的に応じて計算の結果の見積もりをすることやそれらを適切に活用する技能を身に付けることができた。 (思・判・表)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめることができた。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	数と計算「余暇の過ごし方について」(4月～5月)	(整数の加減乗除) ・3位数と2～3位数の加法計算 ・和が3位数、4位数の場合 ・3位数から1～3位数をひく減法計算 ・波動的に繰り下がる場合 ・4位数と2～4位数の加減計算(一万の位への繰り上がりなし) ・1位数でわる除法の暗算 ・何十でわる除法計算 ・2～3位数÷2位数、3位数÷3位数の除法と筆算形式 ・仮商のたて方と修正の仕方 ・除法について成り立つ性質 ・末尾に0のある除法の計算の工夫 ・DVDレンタル時の料金表やカラオケ・ボウリング等の娯楽施設の料金表の読み取り、合計利用料を考える。 ・家計簿のつけ方や計算方法を知って、1ヶ月の模擬支出を考える。 ・銀行の預金や引き出し方法、通帳の見方などを学ぶ。
		(知及技)速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解を深めるとともに、それらを求める技能を身に付けることができる。(高1段階Cイ(ア)㊟) (思判表力)異種の二つの量の割合として捉えられる数量関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察し、日常生活に生かす力を養うことができる。(高1段階Cイ(イ)㊟) (学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階Cウ)	(知・技)速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解を深めようとするともに、それらを求める技能を身に付けることができた。 (思・判・表)異種の二つの量の割合として捉えられる数量関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察しようとしたり、日常生活に生かすことができた。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	変化と関係「生活のなかの時間や時刻について」(6月～7月)	・きまりを使った乗法の計算の工夫 ・2位数と1位数との乗法の暗算 ・時間や時刻を意識して、校外への余暇活動の計画を立てる。 ・校内実習で働く時間を求めよう。実際に働く時間や期間について考える。 (時間の単位、時刻・時間の計算、伴って変わる2つの数量の関係、単位量あたりの大きさ、速さ) ・単位量あたりの大きさの意味 ・人口密度の意味と求め方 ・速さの意味と表し方 ・速さに関する公式とその適用
		(知及技)ある数の10倍、100倍、10分の1、100分の1などの大きさの数と小数点の位置の関係や分数の表し方について理解を深めるとともに、それらの計算ができる技能を身に付けることができる。(高1段階Aイ(ア)㊟、Aケ(ア)㊟) (思判表力)数の表し方の仕組み及び数のまとまり、数を構成する単位に着目し、数の相対的な大きさを考えたり、計算の仕方を考えるときにそれを日常生活に生かす力を養うことができる。(高1段階Aイ(イ)㊟、Aケ(イ)㊟) (学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階Aウ)	(知・技)ある数の10倍、100倍、10分の1、100分の1などの大きさの数と小数点の位置の関係や分数の表し方について理解するとともに、それらの計算ができる技能を身に付けることができた。 (思・判・表)数の表し方の仕組み及び数のまとまり、数を構成する単位に着目し、数の相対的な大きさを考えようとしたり、計算の仕方を考えるときにそれを日常生活に生かすことができた。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	数と計算「生産・販売に関わるお金について」(9月～10月)	・10倍、100倍、1000倍、10でわったりした数の大きさ ・億、兆に及ぶ数の構成、命数法と記数法 ・3位数どうしの乗法の筆算 ・末尾に0のある乗法の計算の工夫 ・レシートの見方を学ぶ。 ・商品の原価と価格について知り、利益の計算や原価率について考える。 ・決められた個数の製品を作るためのコストや納期までの計画について考える。 (整数の乗法、整数の除法の意味、小数倍、簡単な分数の加法・減法、同分母分数の加減、分数と小数、整数の関係)

2 学 期	42	<p>(知及技)三角形、様々な四角形などの多角形や円の性質、円周率及び図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともにそれらを活用する技能を身に付けることができる。(高1段階Bア(ア)㉔㉕㉖㉗)</p> <p>(思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係、図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて説明したりする力を養うことができる。(高1段階Bア(イ)㉘㉙)</p> <p>(学・人)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階Bウ)</p>	<p>(知・技)三角形、四角形などの多角形及び図形の形や大きさが決まる要素について理解しようとするとともにそれらを活用する技能を身に付けることができる。</p> <p>(思・判・表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係、図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察しようとし、図形の性質に気付き、その性質を説明することができた。</p> <p>(主学)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとし、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。</p> <p>【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。</p>	<p>図形「間取りについて」 「目的地までの距離について」 (11月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 長さや重さ、広さの単位を知って、身近なものの量を表す。 様々な計器や計算を行い、実際の長さや重さ、広さを求める。 自分の家の間取りを知る。 実物と模型で拡大・縮小について考える。 直線の垂直、平行の概念とひき方 平行線を活用してできる角の大きさの考察 台形、平行四辺形、ひし形の概念、性質 台形、平行四辺形、ひし形のかき方 合同の意味、合同な図形の弁別 合同な図形の性質 合同な三角形の作図と、三角形の決定条件の初歩 円周率の意味 円の直径の長さや円周の長さの関係(長さの単位、重さの単位、適切な単位と計器の選択、正三角形、二等辺三角形、平行四辺形、台形、ひし形、面積の単位、長方形、正方形の面積) 直方体、立方体の概念、特徴、性質 展開図、見取図の意味とかき方 直方体、立方体の面や辺の位置関係(垂直、平行) 角柱、円柱の概念、特徴、性質
		<p>(知及技)ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係比べる場合に割合を用いる場合があることや百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。(高1段階Cウ(ア)㉚㉛)</p> <p>(思判表力)日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができる。(高1段階Cウ(イ)㉜)</p> <p>(学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階Cウ)</p>	<p>(知・技)ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係比べる場合に割合を用いる場合があることや百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。</p> <p>(思・判・表)日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができた。</p> <p>(主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。</p> <p>【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。</p>	<p>変化と関係「生活のなかの割合について」 (12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 10倍、1/10にした数の表し方 十進位取り記数法と十進数の意味 〇%と歩合について知る。 〇%引きや消費税抜き、込みについての値段を求める。 (割合)
3 学 期	27	<p>(知及技)万・億・兆の単位やある数の10倍、100倍、10分の1、100分の1、概数、四捨五入の表し方について理解を深めるとともに、3位数までの整数や小数の加法及び減法、乗法の意味について理解しそれらを計算する技能を身に付けることができる。(高1段階Aア(ア)㉞㉟、Aウ(ア)㉡㉢、Aエ(ア)㉤、Aオ(ア)㉦、Aキ(ア)㉧)</p> <p>(思判表力)数量関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考え、それを日常生活に生かす力を養うことができる。(高1段階Aウ(イ)㉨、Aエ(イ)㉩)</p> <p>(学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階Aウ)</p>	<p>(知・技)万・億の単位やある数の10倍、100倍、10分の1、100分の1、概数の表し方について理解しようとするともに、3位数までの整数や小数の加法及び減法、乗法の意味について理解しそれらを計算する技能を身に付けることができる。</p> <p>(思・判・表)数量関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだそうとするとともに、日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えたり、それを日常生活に生かすことができた。</p> <p>(主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。</p> <p>【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。</p>	<p>数と計算「消費税や割引について」 (1月～2月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一億までの数の読み方、書き方 一億までの数の位取りの原理、数の構成 数の相対的な大きさ、大小、系列、順序関係 数直線の意味 消費税や割引について知る。 合計金額から消費税がいくらか考える。 クーポン券を活用すると大体いくらになるか考える。 予算内で商品購入の計画を立てる。(1億までの数、概数、概算、小数の加法・減法、小数の乗法) 何十、何百に1位数をかける乗法計算 2～3位数に1位数をかける乗法と筆算形式
		<p>(知及技)円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解するとともに、数量の関係を割合で捉え円グラフや帯グラフで表したり、読んだりし、統計的な問題解決の方法を知る技能を身に付けることができる。(高1段階Dア(ア)㉫㉬)</p> <p>(思判表力)目的に応じてデータをまとめて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察する力を養うことができる。(高1段階Dア(イ)㉭)</p> <p>(学・人)データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階Dウ)</p>	<p>(知・技)円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解しようとするとともに、数量の関係を円グラフや帯グラフで表したり、読んだりし、統計的な問題解決の方法を知る技能を身に付けることができる。</p> <p>(思・判・表)目的に応じてデータをまとめて、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取ろうとし、その結論について考察することができた。</p> <p>(主学)データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。</p> <p>【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。</p>	<p>データの活用「いろいろな手続きについて」 (2月～3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 何十、何百を1位数でわる除法計算 2～3位数を1位数でわる除法と筆算形式 平均の意味と求め方 平均から全量を求める方法 携帯の契約方法についてプラン別に考える。 宅配便やゆうパック等の利用方法について知り、利用料を比較する。 電気、ガス、水道などの公共設備の料金設定について考える。(表や棒グラフ、二次元の表、円グラフ、帯グラフ)
総時数	105				

令和7年度 高等部 1年II課程（産業コース） 理科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部1年II課程（産業コース）			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階) (思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力を身につけることができる。(高1段階) (学・人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件について理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力)発芽、成長及び結実に関わる条件に気付き、それらを制御し、予想や仮説を確かめる方法を理解したり、検討したりして、その結果を捉えることができる。(高1段階Aア(イ)) (学・人)植物の発芽、成長及び結実について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件について理解しようとしているとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 (思・判・表)発芽、成長及び結実に関わる条件に気付き、それらを制御し、予想や仮説を確かめる方法を理解しようとしたり、検討したりして、その結果を捉えることができた。 (主学)植物の発芽、成長及び結実について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「植物の発芽、成長、結実」(4、5月) ・発芽の条件 ・成長の条件 ・植物の受粉と結実 ・沖繩で見られる植物	・発芽の条件について予想し、観察する。(ホウセンカの種まき) ・成長の条件について予想し、観察する。(ホウセンカの栽培) ・植物の受粉・結実の様子を観察する。(ハイビスカスの花の観察)
		(知及技)流れる水には、浸食、運搬、堆積の働きがあること、川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Bア(ア)) (思判表力)流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(高1段階Bア(イ)) (学・人)流れる水の働きについて、学んだことを様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)流れる水には、浸食、運搬、堆積の働きがあること、川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解しようとしているとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 (思・判・表)流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができた。 (主学)流れる水の働きについて、学んだことを様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「流れる水の働きと土地の変化」(6、7月) ・浸食、運搬、堆積 ・川原の石の大きさと形 ・沖繩の川、ダム	・水の量をえて、流れる水の働きを調べる。(流れる土の量を比較する。カーブの内側と外側を比較する。) ・川の上流と下流と川原の石を比較する。
2 学期	14	(知及技)天気の変化は、雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Bイ(ア)) (思判表力)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(高1段階Bイ(イ)) (学・人)天気の変化について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)天気の変化は、雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解しようとしているとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 (思・判・表)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)天気の変化について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「天気の変化」(9、10月) ・雲と天気の変化 ・天気の変化の予想 ・沖繩の気候	・雲の様子と天気の変化を調べる。(衛星写真を見て、天気を予想する。) ・雲の種類(10)を紹介する。
		(知及技)物が水に溶けても、水と物を合わせた重さは変わらないこと、物が水に溶ける量には限界があることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Cア(ア)) (思判表力)物の溶け方について調べる中で、物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(高1段階Cア(イ)) (学・人)物の溶け方について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)物が水に溶けても、水と物を合わせた重さは変わらないこと、物が水に溶ける量には限界があることを理解しようとしているとともに、観察や実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 (思・判・表)物の溶け方について調べる中で、物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができた。 (主学)物の溶け方について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「物の溶け方(均一性含)」(11、12月) ・溶解、重さの保存 ・温度との関係 ・量との関係	・水に溶けて見えなくなった食塩の行方を学ぶ。(重さの変化、蒸発させてみる。) ・物が水に溶ける量の限度を学ぶ。(限界まで溶かしてみる。) ・条件により水に溶ける量が変化することを学ぶ。(温度、水の量)
3 学期	9	(知及技)乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Cイ(ア)) (思判表力)電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(高1段階Cイ(イ)) (学・人)電流の働きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わることを理解しようとしているとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 (思・判・表)電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができた。 (主学)電流の働きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「電流の働き」(1～3月) ・電流 ・直列つなぎ ・並列つなぎ	・電流の生み出す力について学ぶ。(乾電池の数やつなぎ方によるモーターの速さ・回転の向き、電球の明るさを比較する。)
総時数	35				

令和7年度 高等部1年 II 課程 (産業コース) 音楽科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒		担当者		
2/70	高等部1年II課程 (産業コース)				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見だしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(高1段階) (学・人)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けることができる。(高1段階A工(ウ)㊦) (思判表力)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫できる。(高1段階A工(ア)) (学・人)主体的・協動的に身体表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けることができた。 (思・判・表)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現ができた。 (主学)主体的・協動的に身体表現に取り組むことができた。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	身体表現「リズムを楽しもう」 (4～5月)	・複数の音符を用いたリズム打ちや音符の理解について学習する。 ・リズムに合わせてカップを使った表現をする。
		(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解できる。(高1段階Aア(ア)㊦) (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫できる。(高1段階Aア(ア)) (学・人)主体的・協動的に歌唱表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解できた。 (思・判・表)歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現の創意工夫ができた。 (主学)主体的・協動的に歌唱表現に取り組むことができた。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	歌唱「平和について考えよう」 (5～6月)	・歌詞の理解や演奏と歌唱、鑑賞のマネーについて学習する。
		(知及技) 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解できる。(高1段階Aイ(イ)㊦) (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫できる。(高1段階Aイ(ア)) (学・人)主体的・協動的に器楽表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解できた。 (思・判・表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現の創意工夫ができた。 (主学)主体的・協動的に器楽表現に取り組むことができた。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	器楽「器楽合奏に挑戦しよう」 (5～7月)	・楽器演奏体験をする。(楽器の名称、楽器の特徴) ・奏法について学習する。(個人練習、パート練習、合奏) ・指揮の注視について学習する。
		(知及技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解できる。(高1段階Bア(イ)) (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。(高1段階Bア(ア)) (学・人)主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 曲想及びその変化について理解できた。 (思・判・表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲全体を味わって聴くことができた。 (主学)主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組むことができた。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	鑑賞「特徴を捉えて聴こう」 (5～6月)	・クラシックや宗教音楽、民族音楽など色々なジャンルの曲を鑑賞する。
2 学期	28	(知及技) 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解できる。(高1段階Aイ(イ)㊦) (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫できる。(高1段階Aイ(ア)) (学・人)主体的・協動的に器楽表現に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解できた。 (思・判・表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現の創意工夫ができた。 (主学)主体的・協動的に器楽表現に取り組むことができた。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	器楽「器楽合奏を楽しもう」 (9～11月)	・楽器演奏体験をする。(楽器の名称、楽器の特徴) ・奏法について学習する。(個人練習、パート練習、合奏) ・指揮の注視について学ぶ。
		(知及技) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けることができる。(高1段階Aウ(ウ)) (思判表力)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫できる。(高1段階Aウ(ア)) (学・人)主体的・協動的に創作の学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫しようとしている。 (主学)主体的・協動的に創作の学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	創作「作曲りに挑戦しよう」 (11月～12月)	・音楽創作アプリ等を使用し、旋律及リズムパートの創作を行う。
		(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解できる。(高1段階Aア(ア)㊦) (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫できる。(高1段階Aア(ア)) (学・人)主体的・協動的に歌唱表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解できた。 (思・判・表)歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現の創意工夫ができた。 (主学)主体的・協動的に歌唱表現に取り組むことができた。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	歌唱「気持ちを込めて歌おう」 (1～3月)	・発声練習、歌詞の理解、強弱記号の理解と意識をする。

3 学期	18	<p>(知及技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解できる。(高1段階Bア(イ))</p> <p>(思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。(高1段階Bア(ア))</p> <p>(学・人) 主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 曲想及びその変化について理解できた。</p> <p>(思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲全体を味わって聴くことができた。</p> <p>(主学) 主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>鑑賞「曲の特徴捉え発表しよう」 (2～3月)</p>	<p>・クラシックや宗教音楽、民族音楽など色々なジャンルの曲を鑑賞する。</p> <p>・生徒同士で感じたこと等を話し合う場面を設定し、曲の特徴についてグループ毎に発表する。</p>
総時 数	70				

令和7年度 高等部1年 II課程 (産業コース) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部1年II課程 (産業コース)			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。(高1段階) (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(高1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階A表現(イ)) (思判表力) 対象や物事を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構成を練ることができる。(高1段階A表現(ア)) (学・人) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表そうとしている。 (思・判・表) よさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「自己紹介ネームカード」(4月)	・自己紹介カードを制作する。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
		(知及技) 形や色彩、材料や光などの動きを理解することができる。(高1段階共通事項(ア)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階B鑑賞(ア)) (学・人) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの動きを理解しようとしている。 (思・判・表) (思・判・表)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「いろいろな技法」(5～7月)	・技法について学ぶ。 ・制作した作品を鑑賞する。
2 学期	28	(知及技) 形や色彩、材料や光などの動きを理解することができる。(高1段階共通事項(ア)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階B鑑賞(ア)) (学・人) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 対象や事象を見つめ、構成を創意工夫し、表現する構成を練ろうとしている。 (思・判・表) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「コラージュ」(9～10月)	・いろいろな技法から形を切り取り新しく作品を制作する。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
		(知及技) 材料や用具の特性の活かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階) (思判表力) 生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。(高1段階B鑑賞(イ)) (学・人) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 材料や用具の特性の活かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫しようとしている。 (思・判・表) 生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「クリスマスカード制作」(11～12月)	・クリスマスカードの制作をする。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。

3 学期	18	<p>(知及技) 対象や事象を見つめ感じ取ったことを表現できるような鑑賞方法を身に付けることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階B鑑賞(ア))</p> <p>(学・人) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高2段階)</p>	<p>(知・技) 対象や事象を見つめ感じ取ったことを表現できるような鑑賞方法を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げようとしている。</p> <p>(主学) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。</p>	○「鑑賞」 (1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・各名画について学ぶ。 ゴッホ ルノアール モネ ダヴィンチ シャガール
		<p>(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階A表現(イ))</p> <p>(思判表力) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解することができる。(高1段階共通事項(イ))</p> <p>(学・人) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表そうとしている。</p> <p>(思・判・表) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。</p> <p>(主学) 主体的・協働的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。</p>	○「模写」 (2～3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・各名画を模写する。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
総時数	70				

令和7年度 高等部1年Ⅱ課程（産業コース）保健体育科(体育) 年間指導計画

単位数 / 配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部1年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。(高1段階) (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。(高1段階Aア) (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Aイ) (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Aウ)	(知・技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をすることができる。 (思・判・表)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (主学)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	「体づくり運動」 (4月～3月) ・集団行動 ・ラジオ体操 ・新体カテスト ・特体連ダンス	・いろいろな手軽な運動やリズムカルな運動を行う。 ・特体連ダンスやラジオ体操や地域で親しまれている曲に合わせてダンスを行う。 ・体の柔らかさや巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行われる運動を行う。
		(知及技)水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。(高1段階Dア) (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Dイ) (学・人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Dウ)	(知・技)水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思・判・表)水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (主学)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	「水泳」 (6～7月) ・クロール ・平泳ぎ ・スタート&ターン	・クロール、平泳ぎでは手や足の動きと呼吸のタイミングを合わせられるようゆっくりとした動きで行う。 ・生徒の体力や技能に応じてスタート、ターンの練習を行う。
2 学期	28	(知及技)器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。(高1段階Bア) (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Bイ) (学・人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Bウ)	(知・技)器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。 (思・判・表)器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (主学)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	「器械運動」 (9月) ・マット運動 ・跳び箱運動 ・トランポリン	・一連の動きを滑らかに、バランスよく姿勢を保ちながら行い、基本的な技を身に付ける。
		(知及技)武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。(高1段階Fア) (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Fイ) (学・人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Fウ)	(知・技)武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。 (思・判・表)武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (主学)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	「武道」 (10月) ・空手	・基本動作を中心に取り組み、普及型Ⅰ、Ⅱに挑戦する。

		<p>(知及技)陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。(高1段階Cア)</p> <p>(思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Cイ)</p> <p>(学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Cウ)</p>	<p>(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができた。(思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができた。(主学)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「陸上競技」(11,12,1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 ・長距離走 ・リレー 	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走では手足のリズムを合わせ、体を軽く前傾させて全力で走ること。 ・長距離走では、ペースを一定にして走ること。 ・リレーではバトンの受け渡しのタイミングを練習しながらチームに分かれて競争し、チームのタイムを短縮できるように練習を行う。
3 学 期	18	<p>(知及技)ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をすることができる。(高1段階Gア)</p> <p>(思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Gイ)</p> <p>(学・人)ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Gウ)</p>	<p>(知・技)ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流をすることができた。(思・判・表)ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができた。(主学)ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「ダンス」(1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的なリズムのダンス(リズムに乗って全身で自由に弾んで踊ること。) ・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊ること。 ・リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ること
		<p>(知及技)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(高1段階Eア)</p> <p>(思判表力)球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Eイ)</p> <p>(学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Eウ)</p>	<p>(知・技)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができた。(思・判・表)球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができた。(主学)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「球技」(2,3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・サッカー ・バレーボール ・バドミントン ・卓球 ・ボッチャ ・フライングディスク 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態等に応じて簡易化したルールでゲームを行う。 ・将来の余暇活動にも結びつく種目を積極的に取り入れる。 ・生徒の実態に応じて、各種目のきまりやルールのについての学習を行う。
		<p>(知及技)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付くことができる。(高1段階Hア)</p> <p>(思判表力)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Hイ)</p> <p>(学・人)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。(高1段階Hウ)</p>	<p>(知・技)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付くことができた。(思・判・表)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができた。(主学)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「体育理論」(4月～3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの多様性 ・効果と学び方 ・安全な行い方 ・文化としてのスポーツの意義 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツには多様な関わり方があること。 ・効果と学び方では、運動が身体の発達やその機能に効果があることや食生活の改善と関連付ける。 ・安全な行い方では、運動の特性や目的に適した運動を選択したり、個々の発達段階に応じた強度、時間、頻度に配慮した計画を立てること。
総時数	70				

令和7年度 高等部1年(Ⅱ課程 産業コース)保健体育科(保健)年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部1年Ⅱ課程 産業コース			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。(高1段階) (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階Iア) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Iイ) (学・人)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができる。(高1段階Iウ)	(知・技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができた。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができた。 (主学)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「保健」(4～7月) 「交通事故や自然災害などによる傷害発生要因」 「交通事故などによる傷害の防止」 「身体環境に対する適応能力・至適範囲」	・安全に登校するための交通ルールとマナー ・人的要因や環境要因などに関わりによる傷害の発生 ・安全な行動 ・身体環境に対する適応能力を超えた環境の健康への影響 ・快適で能率のよい生活ができる環境の範囲 ・熱中症対策
2学期	14	(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階Iア) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Iイ) (学・人)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができる。(高1段階Iウ)	(知・技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができた。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができた。 (主学)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「保健」(9～12月) 「生活習慣病と健康」 「生活習慣病などの予防」 「交通事故や自然災害などによる傷害発生要因」	・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の継続 ・生活習慣の乱れ ・自然災害では台風、高潮、大雨洪水、雷、竜巻について学習する。(水難事故も含む) ・人的要因や環境要因などに関わりによる傷害の発生 ・安全な行動
3学期	9	(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階Iア) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Iイ) (学・人)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができる。(高1段階Iウ)	(知・技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができた。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができた。 (主学)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「保健」(1～3月) 「身体機能の発達」 「生殖に関わる機能の成熟」	・器官が発育し機能が発達する時期 ・発育、発達の個人差 ・成熟に伴う適切な行動
総時数	35				

令和7年度 高等部1年Ⅱ課程(産業コース) 職業科(座学) 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部1年Ⅱ課程 (産業コース)			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 勤労の意義を理解することができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力) 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階Aア(イ)) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 勤労の意義を理解することができた。 (思・判・表) 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができた。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】 活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○オリエンテーション (4月) ・授業の目標と活動内容について ○「自分のこと」(4月) ①好きなこと、よいところ ②自分の体 ③自分の家 ⑥やりたいこと、夢、職業	・授業の目標や活動内容について知り、学習の見通しを持つ。 ・家庭や学校、地域における自分と他者との役割について知る。 ・自分の長所や短所、特性を理解する。 ・血液型や服薬、配慮してほしいことを確認する。 ・住所・電話番号・最寄りバス停などについて確認する。 ・自分の夢実現に向けたドリームマップを作成する。
		(知及技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高1段階Aイ(ア)㉞) (思判表力) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階Aイ(イ)㉞) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができた。 (思・判・表) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができた。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】 学習や活動の状況およびワークシート等の記述内容に基づいて評価	○「着こなし講座」 ○「身だしなみ講座」 ○「金融教育講座」 (5・7月)	・「洋服の青山」のスタッフによる着こなし講座を受講するとともに実践を行う。 ・「資生堂」のスタッフによる身だしなみ講座を受講するとともに実践を行い、身だしなみについて理解する。 ・外部講師による講話を聞き、ライフプランについて知り、将来設計を行う。 ・ワークシートを活用して講義内容の振り返りやまとめを行う
		(知及技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高1段階Aイ(ア)㉞) (思判表力) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)㉞) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができた。 (思・判・表) 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができた。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 【評価資料】 活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「自分のこと」(5月) ④生活スケジュール ○「働くために必要なこと」(5月) ⑧実習に行く前に ⑨実習中の生活 ⑩作業工程の理解 (技能検定)	・1日及び1週間のスケジュール管理や休日の過ごし方を知る。 ・目標、実習内容、実習先の情報、通勤方法、持ち物、日誌の書き方について知る。 ・実習中の日課、健康管理、通勤中のトラブル対処の方法等を知る。 ・メンテナンス部門(自在ほうき・モップ・机ふき)の技能について知り、実践する。
		(知及技) 職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力) 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。(高1段階Cイ) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができた。 (思・判・表) 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができた。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】 実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くこと」 (5月～6月) ①仕事に対する心構え ○「働くために必要なこと」(6月～7月) ⑨実習中の生活 ⑩事後学習と報告会 ⑩作業工程の理解 (技能検定)	・仕事をする上での気持ちのコントロール方法を知る。 ・実習中の日課、健康管理、通勤中のトラブル対処の方法等を実践する。 ・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。 ・メンテナンス部門(自在ほうき・モップ・机ふき)の技能について知り、実践する。
		(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高1段階Bア) (思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1段階Bイ) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができた。 (思・判・表) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができた。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】 活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くこと」(9月) ⑦いろいろな仕事 ⑩タイピング ・情報モラル	・職名や職種、企業や事業所の社会的役割などについて調べる。 ・調べたことをICT機器を使ってまとめ、発表する。 ・情報発信による他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつことを知る。

2 学 期	28	(知及技)職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高1段階Aイ(ア)㊟) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)㊟) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができた。 (思・判・表)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くために必要なこと」(9月～10月) ㊟健康管理 ㊠マナーや身だしなみ ㊡聞き取りと伝達 ㊢金銭管理 ㊣移動手段 ㊤面接(事前挨拶)	・健康管理や安全管理について知る。 ・挨拶、返事、言葉遣い、態度、清潔、身だしなみについて知る。 ・メモの取り方や自分の意思の伝え方について知る。 ・金銭の管理方法について知る。 ・実習先までの交通機関の利用方法について知る。 ・面接の基礎知識や質問応対の仕方について知る。
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。(高1段階Cイ) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができた。 (思・判・表)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くこと」(10月～11月) ㊟仕事に対する心構え ○「働くために必要なこと」(10月～11月) ㊠実習中の生活 ㊡事後学習と報告会 ㊢作業工程の理解(技能検定)	・仕事をする上での気持ちのコントロール方法を実践する。 ・実習中の日課、健康管理、通勤中のトラブル対処の方法等を知り、実践する。 ・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。 ・メンテナンス部門(自在ほうき・モップ・机ふき)の技能について知り、実践する。
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。(高1段階Aイ(ア)㊟) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)㊟) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができた。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートなどで評価する。	○「働くために必要なこと」(11月～12月) ㊟健康管理 ㊠マナーや身だしなみ ㊡聞き取りと伝達 ㊢金銭管理 ㊣移動手段 ㊤お礼状の書き方 ㊦お礼状の書き方 ㊧作業工程の理解(技能検定)	・実習日誌や評価表を活用しながら、事前に学習したそれぞれの項目について後期就業体験実習を振り返り、成果と課題、改善策について考え、実践を図る。 ・お礼状の書き方について学び、実習先へお礼状を書く。 ・メンテナンス部門(自在ほうき・モップ・机ふき)の技能について知り、実践する。
3 学 期	18	(知及技)職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高1段階Aイ(ア)㊟) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)㊟) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができた。 (思・判・表)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】学習や活動状況等の観察による評価 ワークシート等の記述内容に基づいて評価	○「消費者教育講座」(1月)	・消費者教育講座を受講し、「契約」や「消費者トラブル」について知る。 ・ワークシートに講義内容をまとめ、記入する。 ・自分について考えたり、働く目的と意義について学ぶ。(キャリアパスポート)
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。(高1段階Aイ(ア)㊟) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)㊟) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができた。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートなどで評価する。	○「社会生活において必要なこと」(1月～2月) ㊟経済生活 ㊠決まりや制度 ㊡地域との関わり	・給料と生活費の関係、求人票や給与明細書の見方について知る。 ・療育手帳や税金、保険制度について知る。 ・学校近隣の清掃活動や作品提供を行う。
		(知及技)勤労の意義を理解することができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階Aイ(イ)㊟) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解することができた。 (思・判・表)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○年間のまとめ(2月～3月) ㊟好きなこと、よいところ ㊠やりたいこと、夢、職業	・ドリームマップやワークシートなどを活用し、1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路実現に向けて、課題改善策を考え、記録・発表する。
総時数	70				

令和7年度 高等部1年Ⅱ課程(産業コース) 職業科(トータルクリーニング・アシストサービス班) 年間指導計画

単位数 / 配当時数		児童生徒		担当者	
6/210		高等部1年Ⅱ課程(産業コース)			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。(高1段階) (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技)勤労の意義を理解することができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解することができる。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○オリエンテーション(4月) ・授業の目標と活動内容について ・SDGsについて	・授業の目標や活動内容について知り、学習の見直しを持つ。 ・雇用のある職種について知る。 ・SDGsの理念や17の目標について知る。
		(知及技)職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高1段階Aイ(ア)㉞) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階Aイ(イ)㉞) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができた。 (思・判・表)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○労働者としての基礎的な態度やマナー(4月～5月) ・挨拶 ・言葉遣い ・身だしなみ ・「報告・連絡・相談」	・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーについて知る。
		(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階Aイ(ア)㉟) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)㉟) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができた。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○清掃の基礎的な作業工程について(5月～7月) ・机拭き ・自在ほうき ・モップ ・乾式モップ	・机拭きの基礎的な作業工程について知る。 ・自在ほうきの基礎的な作業工程について知る。 ・モップ清掃の基礎的な作業工程について知る。 ・乾式モップの基礎的な作業工程について知る。 教材(技能検定動画、技能検定仕様書)
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。(高1段階Cイ) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができた。 (思・判・表)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○前期就業体験実習(5月中旬～6月初旬) ・事前学習 ・実践 ・産業教育実践講座 ・事後学習	・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーを確認し、実践する。 ・清掃の基礎的な作業工程について確認し、実践する。 ・目標、実習内容、持ち物、日誌の書き方について知り、実践する。 ・実習内容について確認する。 ・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関する技術について理解することができる。(高1段階Aイ(ア)㊱) (思判表力)生産や生育活動等に関する技術について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)㊱) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関する技術について考えることができた。 (思・判・表)生産や生育活動等に関する技術について考えることができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○喫茶サービスについて(9月～10月) ・食品衛生管理 ・食品製造加工 ・喫茶サービスの基本 ○地域貢献活動(9月～12月)	・食品衛生管理の概念や方法等について知る。 ・食品製造加工の概念や方法等について知る。 ・喫茶サービスの基礎的な業務手順について知る。 ・地域貢献活動(清掃や販売など)を行う。

2 学期	84	<p>(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階Aイ(ア)㊸)</p> <p>(思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)㊹)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができた。</p> <p>(思・判・表)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>○労働者としての態度について(近隣企業での職場体験を通して)(9月～12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドメイキング ・客室清掃 ・食品補充 ・窓拭き ・車椅子利用者の介助方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なオフィスアシスタントの業務手順について知る。 ・近隣企業の業務内容について知る。 ・近隣企業でのルールとマナーについて知る。 (体験場所:ホテルゆがふいんおきなわ、特別養護老人ホームかりゆしぬ村) ・就労支援について知る。 ・窓拭きの基礎的な作業工程や道具の扱い方について知る。 ・車椅子利用者の基礎的な介助方法や車椅子の扱い方について知る。
		<p>(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Cア)</p> <p>(思判表力)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。(高1段階Cイ)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができた。</p> <p>(思・判・表)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>○後期就業体験実習(10月中旬～11月上旬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習 ・実践 ・事後学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期実習を振り返り、後期の実習の目標を立てる。。 ・実習内容について確認する。 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーについて確認し、実践する。 ・実習先でのルールとマナーについて確認し、実践する。 ・実習先での仕事内容を確認する。 ・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。
3 学期	54	<p>(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高1段階Bア)</p> <p>(思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1段階Bイ)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができた。</p> <p>(思・判・表)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>○1年間の活動をまとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPointなどのアプリを使い、準備されたテンプレートに合わせて収集した情報を整理する。 ・情報機器を用いて収集した情報を活用しながら、自分の1年間の活動をまとめ、記録し、発表する。
		<p>(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階Aイ(ア)㊸)</p> <p>(思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)㊹)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができた。</p> <p>(思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>○働くことの大切さや社会生活の実際について(近隣企業での職業体験を通して)。(1月～2月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーについて学習する。 ・基礎的なオフィスアシスタントの業務手順について学ぶ。 ・近隣企業の業務内容について知る。 ・近隣企業でのルールとマナーについて学習する。 (体験場所:ホテルゆがふいんおきなわ、特別養護老人ホームかりゆしぬ村) ・ハローワークについて学習する。
		<p>(知及技)勤労の意義を理解することができる。(高1段階Aア(ア))</p> <p>(思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階Aア(イ))</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)勤労の意義を理解することができた。</p> <p>(思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>○年間のまとめ(3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題 ・課題解決策を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路実現に向けて、課題改善策を考え、記録・発表する。
総時数	210				

令和7年度 高等部1年 II課程 (産業コース) 家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒		担当者		
1/35	高等部1年II課程 (産業コース)				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高1段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 自分の成長と家族や家庭生活との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くことができる。(高1段階A(ア)) (思判表力) 家族とのよりよい関わり方について考え、表現することができる。(高1段階A(イ)) (学・人) 家庭生活中で自分ができることに取り組む意欲をもつ。(高1段階ウ)	(知・技) 自分の成長と家族や家庭生活との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くことができる。 (思・判・表) 家族とのよりよい関わり方について考え、表現することができた。 (主学) 家庭生活中で自分ができることに取り組む意欲をもつことができた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	【わたしの家庭生活】(4月) 1 これまでの家庭生活 (1) あなたの家庭生活 (2) あなたの家庭での役割 2 これからの家庭生活 (1) 自分自身について考えてみよう (2) 自立した生活を目指して	・家庭や家族の基本的な機能について考える。 ・家庭や家族の大切さについて考える。 ・自分の成長を考える。 ・自分と家族との生活を振り返り、高校生としての自立について考える。
		(知及技) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることに気付くことができる。(高1段階A(ア)) (思判表力) 家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、表現することができる。(高1段階A(イ)) (学・人) 家庭生活中で自分ができることに取り組む意欲をもつ。(高1段階ウ)	(知・技) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることに気付くことができる。 (思・判・表) 家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、表現することができた。 (主学) 家庭生活中で自分ができることに取り組む意欲をもつことができた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	【共に支え合う生活】(5月) 1 ぐらしやすい地域づくり	・ぐらしやすい地域づくりについて考える。 ・地域の行事を調べる。
		(知及技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践することができる。(高1段階A(ア)) (思判表力) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができる。(高1段階A(イ)) (学・人) 家庭生活中で自分ができることに取り組む意欲をもつ。(高1段階ウ)	(知及技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践することができた。 (思判表力) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができた。 (学・人) 家庭生活中で自分ができることに取り組む意欲をもつことができた。(高1段階ウ) 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	【余暇の過ごし方】(5月) 1 余暇を楽しく過ごす	・休日のスケジュールを書き、充実した休日を通せるよう考える。 ・健康管理方法について知る。
		(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。(高1段階B(ア)) (思判表力) 健康に良い食習慣について考え、工夫することができる。(高1段階B(イ)) (学・人) 食生活の中で食事が果たす役割について関心を持つ。(高1段階ウ)	(知・技) 生活の中で食事が果たす役割について理解することができた。 (思・判・表) 健康に良い食習慣について考え、工夫することができた。 (主学) 食生活の中で食事が果たす役割について関心を持つことができた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	【食事と健康】(6月) 1 元気な体を作る食事 (1) 食事の役割	・食事の役割について考える。 ・食事のとり方と健康が深く関わっていることを理解し、健康に良い食習慣について考える。(朝食の役割) ・栄養素の種類と働きについて知る。 ・高校生に必要な栄養素の特徴について知る。
		(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。(高1段階B(ア)) (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。(高1段階B(イ)) (学・人) 日常食の調理の仕方や手順について知り、進んで学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができた。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができた。 (主学) 日常食の調理の仕方や手順について知り、進んで学習に取り組むことができた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	【食事と健康】(7月) 2 調理をはじめの前に (1) 調理の流れ (2) 調理器具の使い方 (3) 基礎的な調理の仕方 (4) 後片付けの仕方 3 調理をしよう	「調理実習室の使い方」 ・身支度の仕方を確認する。 ・衛生の留意点を確認する。 ・調理器具の取り扱い方と安全面に留意する。 「調理をしよう」(卵料理) ・材料の調理上の性質を理解して調理できる。 ・調理に必要な手順や時間を考え、調理工程をiPadで撮影し、振り返りを行う。
		(知及技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解できる。(高1段階B(ア)) (思判表力) 衣服の選択について考え、工夫することができる。(高1段階B(イ)) (学・人) 実生活を通じて、よりよい衣生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)	(知・技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解できた。 (思・判・表) 衣服の選択について考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じて、よりよい衣生活の実現に向けて工夫し、実践できた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	【被服】(9~10月) 1 季節や場面に合わせた服装 (1) 季節の変化に応じた服装 (2) TP01に合わせた服装	・衣服には社会生活上の働きがあることを知り、目的に応じた着用や個性を生かす着用について考える。 ・おしゃれと身だしなみの違いについて考える。

2 学期	14	<p>(知及技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできる。(高1段階B工(ア)) (思判表力) 目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。(高1段階B工(イ)) (学・人) 布を用いた製作の完成に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできた。 (思・判・表) 目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。 (主学) 布を用いた製作の完成に向けて工夫し、実践できた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>【被服】(11~12月) 5 衣服の補習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎縫い(玉結び・玉止め・なみ縫い)の技術を活用し、小物を製作する。 ・針と糸を用いない補修について学ぶ。 ・教材動画等を見ながら、作業を行う。
		<p>(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。(高1段階Bイ(ア)) (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。(高1段階Bイ(イ)) (学・人) 日常食の調理の仕方や手順について知り、進んで学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができた。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。 (主学) 日常食の調理の仕方や手順について知り、進んで学習に取り組むことができた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>調理をしよう(11~12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常食の調理を行う。
3 学期	9	<p>(知及技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くことができる。(高1段階Cア(ア)) (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。(高1段階Cア(イ)) (学・人) 実生活を振り返り、よりよい消費生活の実現に向けて、自己の課題に気づくことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くことができた。 (思・判・表) 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができた。 (主学) 実生活を振り返り、よりよい消費生活の実現に向けて、自己の課題に気づくことができた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>【ライフスタイルと環境】(1月) 2 計画的な消費生活 (1) 商品を選ぶ (2) 購入方法を知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗販売・無店舗販売・通信販売等の利点と注意点を理解する。 ・商品を購入する際の注意点について考え、実際に物資・サービスの情報収集を行う。
		<p>(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。(高1段階Bイ(ア)) (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。(高1段階Bイ(イ)) (学・人) 日常食の調理の仕方や手順について知り、進んで学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができた。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる。 (主学) 日常食の調理の仕方や手順について知り、進んで学習に取り組むことができた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>調理をしよう(1~3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常食の調理を行う。
総 時 数	35				

令和7年度 高等部1年（Ⅱ課程 産業コース） 外国語 年間指導計画

単位数 / 配当時間		児童生徒		担当者	
1/35		高等部1年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：(知・技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高1段階) (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標		単元・題材の評価規準	
1 学期	12	(知及技) 英語の音声及び簡単な語句や表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高1段階イ(ア)) (学・人) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて主体的に自己紹介をすることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 英語の音声及び簡単な語句や表現などについて、日本語との違いに意識付くことができた。 (思・判・表) 簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちを伝え合うことができた。 (主学) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めて主体的に自己紹介をすることができる。 【評価資料】 活動の様子、学習プリント	○英語の基礎・基本（4月・5月） ・アルファベットの確認、自己紹介、挨拶 ○Unit1 Grade 学年（5月） ・英語の数字 ・主語＋動詞＋述語 ・疑問詞（WhatやWhere）の疑問文 ・英語を使ったやり取りとスピーチ	・大文字、小文字を書く練習。 ・日付や天気、身近な話題をテーマに会話練習をする。 ・自分の趣味、好きな事を説明する。 ・朝・昼・夜それぞれに応じた挨拶を理解する。 ・WhatやWhereを用いた疑問文に対してやり取りやスピーチを行う。 ・OneやFirstの使い方を理解することができる。
		(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 挨拶を交わしたり、簡単な指示で依頼をして、それらに応じたり答えたりすることができる。(高1段階ウ(ウ)ア) (学・人) 挨拶を交えた簡単な会話を主体的に練習することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに意識付くことができた。 (思・判・表) 挨拶を交わしたり、簡単な指示で依頼をして、それらに応じたり答えたりすることができる。 (主学) 挨拶を交えた簡単な会話を主体的に練習することができる。	○Unit2 Going to School 通学（6月） ・前置詞（by） ・乗り物 ・疑問詞（How）の疑問文 ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○Unit3 Birthday 誕生日（7月） ・月・曜日・年 ・疑問詞（When）の疑問文 ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○Summer Vacation 夏休み	・登校の手段に関して、前置詞（主にby）を用いて表現することができる。 ・Unit1を踏まえて疑問詞Howを用いた疑問文に対してやり取りやスピーチを行う。 ・Whenを用いて相手に質問したり、やり取りをすることができる。 ・実際のカレンダーを使って月・曜日や日付が分かる。 ・夏休みについてALTとやり取りができる。
2 学期	14	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真を結びつけることができる。(高1段階ウ(ウ)ア) (学・人) プレゼントに関して簡単な会話を主体的に練習することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに意識付くことができた。 (思・判・表) 自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真を結びつけることができた。 (主学) プレゼントに関して簡単な会話を主体的に練習することができる。	○Unit4 Presents プレゼント（9月） ・動詞Want ・wantとwant to 不定詞の違いについて ・プレゼントに関する固有名詞 ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○Halloween ハロウィン	・誕生日にほしい物をWhat do you wantの疑問文を用いてやり取りすることができる。 ・動詞Want ・wantとwant to 不定詞の違いについて ・欲しい物リストを作成して固有名詞を英語で調べることができる。【iPad】 ・外国文化・ハロウィンに対してALTとやり取りができる。
		(知及技) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いに意識付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 簡単な事柄について、語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真等と結びつけることができる。(高1段階ウ(ウ)ア) (学・人) 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを主体的に書き出すことができる。(高1段階ウ(ウ)イ)	(知・技) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いに意識付くことができた。 (思・判・表) 簡単な事柄について、語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真等と結びつけることができた。 (主学) 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを主体的に書き出すことができた。 【評価資料】 活動の様子、学習プリント、ALTとのやり取り	○Unit5 Family 家族（10月） ・英語「～がいる、～がある」 ・前置詞（on, in, between, in front of, behindなど） ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○Unit6 Pets ペット（11月） ・ペットについて ・動詞have「飼っている、持っている」 ・主語＋don't＋動詞 ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○Christmas クリスマス ○Winter Vacation 冬休み（12月）	・Unit2 前置詞(by)の既習事項から発展させて、There is/areを用いて○○か○○にあるの表現を理解することができる。 ・前置詞を用いて物がどこにあるのか英語で表現することができる。 ・Unit4のwantの既習事項を踏まえて飼ってみたいペットをI want to haveを用いて表現する。 ・ペットを飼っていない場合の否定文don'tを用いた表現を理解する。 ○外国の異文化理解・クリスマスについてALTとやり取りをすることができる。
3 学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 紹介することに関する特有の表現を使うことができる。(高1段階②(イ)エ) (学・人) 自分の身近な暮らしに関わることに、簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件を相手に伝えることができた。 (思・判・表) 紹介することに関する特有の表現を使うことができた。 (主学) 自分の身近な暮らしに関わることに、簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができる。	○Unit7 Colors 色（1月） ・16種類の色について ・My favorite○○の表現 ・What's your favorite○○でやり取りを行う（自分のお気に入りの○○を表現する） ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○New Year resolution 1年の抱負	・light○○で「明るい○○色」やdark○○で「暗い○○色」で表現できることを理解する。 ・My favorite○○の表現 ・I like○○の表現とMy favorite○○の表現の違いを理解する。 ・What's your favorite○○でやり取りを行うことができる。 ・異文化理解 新年の抱負についてALTとやり取りをすることができる。
		(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 自らのことについて、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちを伝えることができる。(高1段階イ(ア)) (学・人) 買い物に関する簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件を相手に伝えることに気付くことができた。 (思・判・表) 自らのことについて、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちを伝えることができた。 (主学) 買い物に関する簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができる。 【評価資料】 活動の様子、買い物リストやスピーチ原稿	○Unit8 Snacks おやつ（2・3月） ・お菓子の種類について ・「Good」以外の表現 ・What's your favorite○○でやり取りを行う（自分のお気に入りの○○を表現する） ・英語を使ったやり取りとスピーチ	・What's your favorite○○でやり取りを行うことができる。 ・店員役と買い物客に分かれて模擬買い物をする ・予算を考えてお菓子の買い物リストを英語で作ることができる ・自分についての簡単なスピーチを作り、覚えて発表することができる。
総時数	35				

令和7年度 高等部 1年 II課程（産業コース） 情報 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒			担当者
1 / 35		高等部 1年 II課程（産業コース）			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高1段階) (思判表力)身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高1段階) (学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)コンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができる。(高1段階A(ア)) (思判表力)目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。(高1段階Aイ(ア)) (学・人)多角的に情報機器のつながりを見つけることができる。(高1段階ウ)	(知・技)コンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができる。 (思・判・表)目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。 (主学)多角的に情報機器のつながりを見つけることができる。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「パソコン教室にある情報機器をみてみよう」 ・オリエンテーション ・教材(PC、PC周辺機器、情報端末) (4・5月)	・パソコン室にある身近な情報機器について知る。 ・教材(PC、PC周辺機器、情報端末)
		(知及技)身近にある情報やメディアの基本的な特性について知る事ができる。(高1段階A(ア)) (思判表力)目的や状況に応じて、身近にある情報に関する問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。(高1段階Aイ(ア)) (学・人)事象と関係する情報を見つけることができる。(高1段階ウ)	(知・技)身近にある情報やメディアの基本的な特性について知る事ができる。 (思・判・表)目的や状況に応じて、身近にある情報に関する問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。 (主学)事象と関係する情報を見つけようとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、作品、発表、ふりかえりシートで評価する。	「自己紹介シートを作ってみよう」 (6月)	・個人情報の扱いについて知る。 ・教材(Officeアプリケーション)
		(知及技)身近にある情報やメディアの基本的な特性を知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。(高1段階A(ア)) (思判表力)目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。(高1段階Aイ(ア)) (学・人)コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動することができる。(高1段階ウ)	(知・技)身近にある情報やメディアの基本的な特性を知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。 (思・判・表)目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。 (主学)コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえて行動しようとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「メディアの特性を考える」 (7月)	・メディアの特性を理解し、活用方法を考える。 ・教材(各種メディア)
2 学期	14	(知及技)情報に関する身近で基本的な法規や制度について知る事ができる。(高1段階A(イ)) (思判表力)情報に関する身近で基本的な法規や制度について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)) (学・人)情報や情報技術を適切に使うことができる。(高1段階ウ)	(知・技)情報に関する身近で基本的な法規や制度について知る事ができる。 (思・判・表)情報に関する身近で基本的な法規や制度について考えることができる。 (主学)情報や情報技術を適切に使おうとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「情報社会で生きていくためには」 「交流の相手校の情報を知ろう」 (9・10月)	・モバイル端末の利便性について学ぶ。 ・教材(PC、iPad)
		(知及技)身近なメディアの基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ること。(高1段階) (思判表力)身近なメディアについて考える。(高1段階) (学・人)情報を複数の視点から考える。(高1段階ウ)	(知・技)身近なメディアの基本的な特性と、その変遷を踏まえて知ることができる。 (思・判・表)身近なメディアについて考えることができる。 (主学)情報を複数の視点から考えようとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「メディアの移り変わり」 (11・12月)	・さまざまなメディアについて、変遷や特性について考える。 ・教材(本、新聞、インターネット)
3 学期	9	(知及技)情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることことができる。(高1段階A(イ)) (思判表力)情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えること。(高1段階Aイ(イ)) (学・人)自分の情報や他人の情報の大切さを踏まえ、尊重しようとする。(高1段階ウ)	(知・技)情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることことができる。 (思・判・表)情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。 (主学)自分の情報や他人の情報の大切さを踏まえ、尊重しようとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「個人情報や情報セキュリティの設定について」 (1月)	・情報に関する自他の権利と守り方について知る。 ・教材(情報モラル動画、情報セキュリティ動画)
		(知及技)身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ること。(高1段階A(ウ)) (思判表力)身近にある情報や情報技術の活用について考えることができる。(高1段階Aイ(ウ)) (学・人)主体的に問題の解決に向けた活動に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技)身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ること。(高1段階A(ウ)) (思・判・表)身近にある情報や情報技術の活用について考えることができる。 (主学)主体的に問題の解決に向けた活動に取り組むことができる。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「施設見学について情報を集めて発表してみよう」 (2・3月)	・目的とする情報を収集し、整理、発表する。 ・教材(インターネット、プレゼンアプリケーション)
総時数	35				

令和7年度 高等部1年 II課程 (産業コース) 道徳科 年間指導計画

単位数 /配当時数		生徒	担当者		
1 / 35		高等部1年II課程 (産業コース)			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間として生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。(小学部)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつことができる。(A 主として自分自身に関すること)	・自分の気持ちを優先したり、時に折り合いをつけたりなど、その都度自分なりに納得できる答えを見つけながら選択し、そしてその結果を受け止められるような態度を持つことを意識することができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「善悪の判断、自立、自由と責任」 『どうする？パンケース』	・これまでの自分の行動を振り返る。 ・「どうする？パンケース」を読み、主人公の立場になり気持ちの言語化やグループでの話し合い。 ・自分で決めることの大切さを考える。 ・自分で決めることの練習(好きなこと等自分の考えを表出する) ・人生での自己決定の大切さ
		思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めることができる。(B 主として人との関わりに関すること)	・相手に感謝の気持ちを伝えることで、どのような人間関係の深まりがあるのかを体験し、相手の立場や気持ちを考え、誰に対しても温かく接する態度を持つことを意識することができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「親切・思いやり、感謝」 『ありがとうのプレゼント』	・これまでの自分の行動を振り返る。 ・「ありがとうのプレゼント」を読み、主人公の「立場や気持ちや状況を想像する。(個人・グループ活動)」 ・ありがとうメッセージを書いて送ろう。
		正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めることができる。(C 主として集団や社会との関わりに関すること)	・集団の全体像を俯瞰して見ることができ、一人ぼっちになる仲間がいらないよう気を配ったり、チームで成し遂げるにはどのような働きかけが自分にはできるか公正な視点で考えて行動したりすることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「公正・公平・社会主義」 『一人である生徒』	・「一人である」ことについて考える。(個人・グループ活動) ・「一人である生徒」を読み、ストーリーや主人公について考える。 ・仲間に関わりかける大切さを考える(他者の意見、自分の意見の表出) ・集団生活をするときの大切なこと
		自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求することができる。(A 主として自分自身に関すること)	・学校生活など、様々な体験を通して自分の特徴を知り、自己を肯定的に捉えるとともに、優れている面などの発見に努めていけるようにすることができた。 ・自分自身の良さや個性を見出し、絶えず伸ばし続ける強い意志や態度を育てることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「向上心、個性の伸長」 『マラソン大会に向けて』	・これまでの経験を振り返る。 ・教材を読み、本文の内容や情景等を思い浮かべる。 ・苦手だけどチャレンジしてみたいこと、得意なことでもっと力を伸ばしたいことについて考える。 ・深めたことについて、共有し合う。
		自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めることができる。(B 主として人との関わりに関すること)	・客観的な事例を基に、相互のその時の気持ちや考え方、個性等、広い視野に立って考えることで、自分の気持ちを伝えながらも、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、他者理解する力、また寛容の心を培っていくことができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「相互理解、寛容について」 『文化祭の準備』	・文化祭での友人との思い出を話し合う。 ・教材を読む。 ・互いの意見を聞いた上で、自分だったらこの場面でどう対応するか、その理由を話し合う。 ・本文P49の事例をロールプレーをして考え、複数人で話し合い、発表をする。 ・お互いに話し合うことができたことを褒める。

2 学 期	14	日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めることができる。また、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な道徳性を養うことができる。(C 主として集団や社会との関わりに関すること)	・国家の発展に努めることは、国民全体の幸福と、国としてのよりよい在り方を願って、その増進に向けて努力することができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「我が国の伝統と文化の尊重 国を愛する態度」 (11月) 『東京2020パラリンピックと木村敬一選手』	・オリンピック・パラリンピックで、日本が金メダルを取った時の映像を流す。 ・教材を読む。 ・自分ができていることを考える。 ・自分が得意なこと、役に立っていることを知り、そのことが日本の発展に貢献できる活動であることを知る。
		社会参画の意義と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めることができる。(C 主として集団や社会との関わりに関すること)	・痛ましい出来事をなくしていくためには、命とは一人ひとりに同じようであり、大切なものであることを理解することができた。 ・親から子へと受け継がれていく、つながりのあるものであることも理解し、命とは自他ともに決して傷つけてはならない尊いものであるという思いを深めることができた。 ・自他の生命を大切にしようとする態度を身に付けることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「生命の尊さ」 『おじいさんと妹』	・「命」という言葉について考える。 ・教材を読み、話し合う。 ・妹の命、おじいさんの命、二つの命について考える。 ・命のつながり図を見て、わかったことや考えたことを伝え合う。 ・命とはどのようなものか、自分の言葉で考える。 ・本時の振り返りをする。
3 学 期	9	誠実に、明るく生きて生活することができる。(A 主として自分自身に関すること)	・ごまかさず正直であることは、自分に対する誠実な生き方からもうまれてくるものであることに気づき、どのような状況にあっても、誠実に行動することができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「正直・誠実」 『手品師』	・「誠実」について考える。 ・「手品師」を読み、主人公の考え方や気持ちの移りかわりを考える。 ・これからの自分の行動について考える。
		父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くことができる。(C 主として集団や社会との関わりに関すること)	・家族関係を自分の視点だけでなく、家族それぞれの立場や気持ちになって考えることで、家族への感謝の気持ちや敬愛の念をもたせ、家庭での自分の役割や立場に気付くことができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「家族愛・家庭生活の充実」 『お母さんへの手紙』	・「お世話になっている」という感謝の気持ちを考える。 ・「お母さんへの手紙」を読み、グループで話し合う。 ・自分のお母さんへ手紙を書く。発表又は掲示し、他者の考えを聞いたり自分の考えを伝える。
		美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めることができる。(D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)	・体験活動等における、自然の織りなす美しい風景や優れた芸術作品等の美しいものとの出会いを振り返り、そこでの感動や畏怖の念、不思議に思ったことなどの体験を生かして、人間と自然、あるいは美しいものとの関わりを多面的・多角的に捉えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「感動・畏敬の念」 『貼り絵に思いを込めて』	・印象に残っている風景等について考え発表する。 ・山下清さんの作品『長岡の花火』を見て感じたこと考えたことを伝える。 ・自分の表現方法を考える。
総時数	35				

令和7年度 高等部1年II課程（産業コース）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒	担当者		
1/35		高等部1年II課程（産業コース）			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめて実現することができるようにする。 (学・人) 探究に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技) 新年度の学習や行事について知り、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 1年間の学校生活や学習活動に見通しを持ち行動できる。 (学・人) 年間の学習内容、行事計画を知り、学校生活への意欲を高めることができる。	(知・技) 新年度の学習や行事について知り、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表) 1年間の学校生活や学習活動に見通しを持ち行動することができた。 (主学) 年間の学習内容、行事計画を知り、学校生活への意欲を高めようとしたことができた。	「学年オリエンテーション」 「学部オリエンテーション」 (4月)	・職員の名前を知る。 ・自己紹介をする。 ・職業班について確認する。 ・年間行事計画を確認する。
		(知及技) 実習を通して経験したことをふり取り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自らの課題や解決策を設定するために適切な情報を収集、整理、分析を行い、表現をすることができる。 (学・人) 社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	(知・技) 実習を通して経験したことをふり取り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思・判・表) 自らの課題や解決策を設定するために適切な情報収集、整理、分析を行い、表現することができた。 (主学) 社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を身に付けることができた。	「前期就業体験実習事前学習」 (5月) 「前期就業体験実習事後学習・報告会」(6月)	・自身の現状を踏まえ、前期実習における目標を設定し、具体的な目標達成方法を考える。 ・実習先や交通手段、持ち物等について確認するとともに、実習生としての態度や言葉遣いについて確認する。 ・前期実習についてまとめ、今後の課題や改善策について考え、実行する。 ・実習内容をまとめ、発表する。 ・先輩の実習報告を聞き、自身の進路選択の参考にする。
2 学期	19	(知及技) 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに進路の選択肢を広げることができる。 (学・人) 将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	(知・技) 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思・判・表) 働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに進路の選択肢を広げることができた。 (主学) 将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養うことができた。	「卒業生進路講話」(9月)	・卒業生進路講話を聞き、自身の進路選択の参考にする。 ・ワークシートに講義内容をまとめ、卒業後について記入する。 ・自分について考えたり、働く目的と意義について学ぶ。(キャリアパスポート)
		(知及技) 校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができる。 (学・人) 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養う。	(知・技) 校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができた。 (思・判・表) 日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができた。 (主学) 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養うことができた。	「生活探究の時間」(9月)	・公共施設を利用し、社会生活上のルールや公衆道徳などについて理解し、適切な行動について考え、実践する。 ・日頃の学習活動の成果を活用しながら集団行動を行い、新たな視点から学習活動の意義を考える。 ・しおりに学習した内容を記入する。
		(知及技) 協力し合ったり、自分から進んで取り組むことで経験を広げ社会性を身に付けることができる。 (思判表力) 同じ社会に生きる人間として、互いを正しく理解し、共に助け合い支え合って生きていくことについて考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができる。 (学・人) 相互に互いの人格と個性を認め尊重し合いながら協働して生活していく態度を養う。	(知・技) 協力し合ったり、自分から進んで取り組むことで経験を広げ社会性を身に付けることができた。 (思・判・表) 同じ社会に生きる人間として、互いを正しく理解し、共に助け合い支え合って生きていくことについて考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができた。 (主学) 相互に互いの人格と個性を認め尊重し合いながら協働して生活していく態度を養うことができた。	「他校との交流会」(10月)	・自己紹介を行う。 ・レクリエーションを通して互いに理解を深め、ともに協力し合いながら交流を深める。
		(知及技) 実習を通して経験したことをふり取り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自らの課題や解決策を設定するために適切な情報を収集、整理、分析を行い、表現をすることができる。 (学・人) 社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	(知・技) 実習を通して経験したことをふり取り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができた。 (思・判・表) 自らの課題や解決策を設定するために適切な情報収集、整理、分析を行い、表現することができた。 (主学) 社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を身に付けることができた。	「後期就業体験実習事前学習」 (10月) 「後期就業体験実習事後学習・報告会」(11月)	・自身の現状を踏まえ、前期実習における目標を設定し、具体的な目標達成方法を考える。 ・実習先や交通手段、持ち物等について確認するとともに、実習生としての態度や言葉遣いについて確認する。 ・前期実習についてまとめ、今後の課題や改善策について考え、実行する。 ・実習内容をまとめ、発表する。 ・先輩の実習報告を聞き、自身の進路選択の参考にする。

3 学期	6	<p>(知・技)校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。</p> <p>(思・判・表)日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができる。</p> <p>(学・人)日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技)校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができた。</p> <p>(思・判・表)日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができた。</p> <p>(主・学)日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養うことができた。</p> <p>【評価資料】 学習や活動状況等の観察による評価 しおり等の記述内容に基づいて評価</p>	「生活探究の時間」(2月)	<p>・公共施設を利用し、社会生活上のルールや公衆道徳などについて理解し、適切な行動について考え、実践する。</p> <p>・日頃の学習活動の成果を活用しながら集団行動を行い、新たな視点から学習活動の意義を考える。</p> <p>・しおりに学習した内容を記入する。</p>
総時数	35				

令和7年度 高等部1年Ⅱ課程（産業コース） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部1年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。 (学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。	(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。 (学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元1「厳粛な場における規律と行動」 単元2「健康の保持と増進」 単元3「事故から身の安全を守る」	・入学式 ・1学期終業式 ・内科検診 ・心電図検査 ・耳鼻科検診 ・交通安全指導 ・歯科検診 ・身体測定 ・胸部X線検査
		(ホームルーム活動(1)イ) ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 (ホームルーム活動(2)ア) 自己の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることことができる。 (ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。 (ホームルーム活動(3)ア) 現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見直しを立て、振り返ることができる。 (ホームルーム活動(3)イ) 自主的に学習する場としての学校図書館等を活用し、自分にふさわしい学習方法や学習習慣を身に付けることができる。	(ホームルーム活動(1)イ) ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 (ホームルーム活動(2)ア) 自己の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることことができる。 (ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。 (ホームルーム活動(3)ア) 現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見直しを立て、振り返ることができる。 (ホームルーム活動(3)イ) 自主的に学習する場としての学校図書館等を活用し、自分にふさわしい学習方法や学習習慣を身に付けることができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元1「学校生活と社会的自立の意義」 単元2「自己の個性の理解と尊重」 単元3「組織づくりや役割の自覚」	・学年オリエンテーション ・学部オリエンテーション ・学校探検 ・自己理解と他者理解 ・1学期の目標設定 ・係決め ・キャリア教育 ・食育(給食における衛生管理) ・学年レク ・前期就業体験実習に向けて ・平和学習 ・1学期の振り返り
		(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。 (生徒会活動(2)) 生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすることができる。	(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。 (生徒会活動(2)) 生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすることができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元1「学校行事への協力」 単元2「生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営」	・新入生歓迎会 ・生徒総会 ・学部集会

2 学期	14	<p>(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。</p> <p>(学校行事(2)) 平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすることができる。</p> <p>(学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。</p>	<p>(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。</p> <p>(学校行事(2)) 平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすることができる。</p> <p>(学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。</p> <p>【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。</p>	<p>単元1「新たな生活への自覚と気品ある行動」 単元2「文化や芸術に親しむ」 単元3「非常時(事件や災害)における身の守り方」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業式 ・2学期終業式 ・芸術鑑賞会 ・総合避難訓練① ・総合避難訓練②
		<p>(ホームルーム活動(1)ア) ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。</p> <p>(ホームルーム活動(2)イ) 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができる。</p> <p>(ホームルーム活動(2)エ) 心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとすることができる。</p> <p>(ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。</p> <p>(ホームルーム活動(3)ウ) 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。</p>	<p>(ホームルーム活動(1)ア) ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。</p> <p>(ホームルーム活動(2)イ) 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができる。</p> <p>(ホームルーム活動(2)エ) 心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとすることができる。</p> <p>(ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。</p> <p>(ホームルーム活動(3)ウ) 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。</p> <p>【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。</p>	<p>単元1「学校生活上の諸問題の解決」 単元2「男女相互の理解と協力」 単元3「悩みや不安への向き合い方」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解と他者理解 ・2学期の目標設定 ・係決め ・キャリア教育 ・食育 ・防災教育 ・安全教育 ・1日生活探究に向けて ・後期就業体験実習に向けて ・交流及び共同学習に向けて ・世界エイズデーについて ・2学期の振り返り
		<p>(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。</p>	<p>(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。</p> <p>【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。</p>	<p>単元「組織づくりや役割の自覚」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学部集会
<p>(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。</p> <p>(学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。</p> <p>(学校行事(5)) 勤労の尊さや想像することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすることができる。</p>	<p>(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。</p> <p>(学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。</p> <p>(学校行事(5)) 勤労の尊さや想像することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすることができる。</p> <p>【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。</p>	<p>単元1「新たな生活への希望や意欲」 単元2「防災」 単元3「社会貢献」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業式 ・高等部卒業式 ・修了式 ・離任式 ・総合避難訓練③ ・生産物販売会 		

3 学期	9	<p>(ホームルーム活動(1)ウ) 生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めることができる。</p> <p>(ホームルーム活動(2)イ) 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができる。</p> <p>(ホームルーム活動(2)ウ) 我が国と他国の文化や生活習慣などについて理解し、よりよい交流の在り方を考えるなど、共に尊重し合い、主体的に国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を探求しようとするることができる。</p> <p>(ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。</p> <p>(ホームルーム活動(3)エ) 適性やキャリア形成などを踏まえた教科・科目を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができる。</p>	<p>(ホームルーム活動(1)ウ) 生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めることができた。</p> <p>(ホームルーム活動(2)イ) 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができた。</p> <p>(ホームルーム活動(2)ウ) 我が国と他国の文化や生活習慣などについて理解し、よりよい交流の在り方を考えるなど、共に尊重し合い、主体的に国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を探求しようとすることができた。</p> <p>(ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができた。</p> <p>(ホームルーム活動(3)エ) 適性やキャリア形成などを踏まえた教科・科目を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができた。</p> <p>【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記</p>	<p>単元1「国際理解」 単元2「規律ある習慣の確立」 単元3「進路選択と将来設計」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解と他者理解 ・3学期の目標設定 ・係決め ・キャリア教育 ・他国の文化や生活習慣 ・食育 ・安全教育 ・1日生活探究に向けて ・3学期の振り返り
		<p>(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。</p> <p>(生徒会活動(2)) 生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすることができる。</p>	<p>(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができた。</p> <p>(生徒会活動(2)) 生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすることができた。</p> <p>【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。</p>	<p>単元1「学校生活の充実と向上」 単元2「学校行事の充実と向上」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員選挙 ・生徒会役員任命式 ・3年生を送る会
総時数	35				

令和7年度 高等部1年Ⅱ課程（産業コース） 自立活動 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部1年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知能、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達のための基盤を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	①生活リズムや生活習慣を身につけることができる。(健(1)) ②病気の状態の理解と生活習慣について理解できる。(健(2)) ③身体各部の状態の理解と養護について理解することができる。(健(3)) ④障害の特性の理解と生活環境の調整を図ることができる。(健(4)) ⑤健康状態の維持・改善について理解することができる。(健(5))	・生活リズムや生活習慣の習得に取り組もうとしている。 ・病気の状態の理解や生活習慣について理解しようとしている。 ・身体各部の状態の理解と養護について理解しようとしている。 ・障害特性の理解と生活環境の調整について理解しようとしている。 ・健康状態の維持・改善について理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りで評価する。	※自立活動指導目標・指導内容設定シートをもとに個々の年間目標を定め、指導内容や活動内容を設定する。	
		①情緒の安定を図ることができる。(心(1)) ②状況の理解と変化への対応ができる。(心(2)) ③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲について理解することができる。(心(3))	・情緒の安定を図ろうとしている。 ・状況の理解と変化への対応を図ろうとしている。 ・障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服について理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りで評価する。		
2 学期	14	①他者とのかかわりの基礎について理解できる。(人(1)) ②他者の意図や感情について理解できる。(人(2)) ③自己の理解と行動の調整について理解できる。(人(3)) ④集団への参加について理解できる。(人(4))	・他者とのかかわりの基礎について理解しようとしている。 ・他者の意図や感情について理解しようとしている。 ・自己の理解と行動の調整について理解しようとしている。 ・集団への参加について理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りで評価する。		
		①保有する感覚の活用について理解できる。(環(1)) ②感覚や認知の特性について理解できる。(環(2)) ③感覚の補助及び代行手段の活用について理解できる。(環(3)) ④感覚を総合的に活用した周囲の状況に応じた行動について理解できる。(環(4)) ⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成について理解できる。(環(5))	・保有する感覚の活用について理解しようとしている。 ・感覚や認知の特性について理解しようとしている。 ・感覚の補助及び代行手段の活用について理解しようとしている。 ・感覚を総合的に活用した周囲の状況に応じた行動について理解しようとしている。 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成について理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りで評価する。		
3 学期	9	①姿勢と運動・動作の基本的技能について理解できる。(身(1)) ②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用について理解できる。(身(2)) ③日常生活に必要な基本動作について理解できる。(身(3)) ④身体の移動能力について理解できる。(身(4)) ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行について理解できる。(身(5))	・姿勢と運動・動作の基本的技能について理解しようとしている。 ・姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用について理解しようとしている。 ・日常生活に必要な基本動作について理解しようとしている。 ・身体の移動能力について理解しようとしている。 ・作業に必要な動作と円滑な遂行について理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りで評価する。		
		①コミュニケーションの基礎的能力について理解できる。(コ(1)) ②言語の受容と表出について理解できる。(コ(2)) ③言語の形成と活用について理解できる。(コ(3)) ④コミュニケーション手段の選択と活用について理解できる。(コ(4)) ⑤状況に応じたコミュニケーションについて理解できる。(コ(5))	・コミュニケーションの基礎的能力について理解しようとしている。 ・言語の受容と表出について理解しようとしている。 ・言語の形成と活用について理解しようとしている。 ・コミュニケーション手段の選択と活用について理解しようとしている。 ・状況に応じたコミュニケーションについて理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りで評価する。		
総時数	35				